

## 患者の皆さまへ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)  
この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

### 記

研究機関名	市立豊中病院
倫理委員会承認日	2020年 4月10日
研究期間	2023年 3月31日 まで
研究の名称	遠位悪性胆道狭窄に対する術前ドレナージの検討
研究対象	膵頭十二指腸切除術前に減黄処置が要した患者様
対象材料	診療記録
対象期間	2011年4月～ 2017年12月
研究の目的意義	遠位悪性胆道狭窄に対する術前ドレナージにおいて、胆管金属ステントが胆管プラスチックステントに比し、有意に開存期間が長いことが報告されています。しかし、胆管金属ステントは、高額であり医療経済的にも問題となっております。そこで本研究は、遠位悪性胆道狭窄に対し最適な術前ドレナージを検討するため、大口径プラスチックステントと細口径プラスチックステント留置症例を後方視的に比較検討することを目的として実施します。
方法	当院で2011年～2018年までに膵頭十二指腸切除術を施行した遠位悪性胆道狭窄患者の治療内容や検査結果を後方視的にデータ集積し、最適な術前ドレナージを科学的に解析します。
個人情報の取り扱い	本研究のデータは、研究目的の達成に必要な範囲を超えて取り扱わず、安全に管理する。研究結果から個人が特定されることはない。
問い合わせ先	市立豊中病院 消化器内科 松本 健吾 TEL 06-6843-0101